

第25回全道高校新人大会

大会展望

2月7日から9日にかけて札幌市にて開催される。参加は男女各32校の計64チーム。会場は北海道立総合体育センター「北海きたえーる」。

男子の優勝候補の筆頭は第1シードの東海大四。激戦の札幌予選を制し、どのような戦い方をするか非常に楽しみである。東海大四との対戦が予想されるのは北海道栄、白樺学園になりそうだ。第2シードの旭川大学高校は地区予選を1位で通過、まずは準決勝進出を目指す。同ブロックの有力校は函館大谷、海星学院。第3シードの札幌工業は札幌予選準決勝で札幌日大を破り地区2位での出場。1回戦での駒大苫小牧戦が鍵となりそうだ。駒大苫小牧にもチャンスは十分にあり、1回戦屈指の好カードである。この試合で勝ったチームがベスト4へ進出することになるであろう。第4シード釧路北陽のブロックは混戦になりそうだ。札幌地区3位、4位の札幌月寒、札幌日大、そして試合巧者の旭川工業と、どのチームにもベスト4進出のチャンスがある。

新チームとして北海道を制するのはどのチームになるのか、熱戦に期待したい。

女子は、札幌予選を大差で制した第1シードの札幌山の手が優勝候補筆頭。同ブロックでは、少人数ながら帯広1位で出場の帯広南商業に注目が集まる。第2シードの札幌東商業はまずは確実に準決勝進出を目指したい。準決勝で対戦が予想される高体連全道で敗れた海星学院にリベンジを果たしての決勝進出が大きな目標となる。第3シードの海星学院は1回戦の函館大妻戦が鍵となりそう。函館1位の函館大妻にも力があり、1回戦の中では注目の好カードとなりそう。逆サイドからはとわの森三愛の準々決勝進出が予想される。第4シードの北星学園女子は1回戦で旭川1位の旭川藤女子と対戦。高体連全道1回戦でも同一カードがあり、そのときは旭川藤が勝利、北星にとってはリベンジマッチとなる。この勝者が準決勝進出チームとなる可能性が高い。また、北海にも力がありどのような戦い方をするかに注目が集まる。

平成25年1月30日

北海道バスケットボール協会強化委員会